

議会だより

No. 1

平成18年9月6日
発行／大分県国東市議会
編集／議会広報編集特別委員会
TEL (0978)72-5196
FAX (0978)72-1822



川舟祭り（国東市安岐町）

国東市議会スタート!!

国東市初代議長・副議長就任挨拶 2

第1回
6月定例会

国東市 平成18年度予算を可決 4

10人が登壇

一般質問 市政を問う 8

常任委員会活動報告 18

スタート



初代

議長に猪俣俊雄議員

副議長に安見蔚議員を選出



新生「国東市」の飛躍・発展に向け努力

議長 猪俣 俊雄

合併による市議会第1回臨時会において、議員各位のご推挙をいただき初代議長という重責を担うことになり、身に余る光栄と責任の重大さを痛感いたしております。

もとより浅学非才ではありますが、議員各位の協力をいただきながら誠心誠意努力してまいります。新生「国東市」が誕生し、今後は一体的なまちづくりの推進、合併の効果を最大限に生かしながら、行財政の効率化に努め、市民の立場にたった、未来に夢と希望のもてる新たなまちづくりに取り組みとともに、地域の特性を活かし、輝かしい歴史・文化、そして豊かな自然を大切に、先人達が残した足跡を守りながら、市民の皆様とともに、後世に誇れる「国東市」を築きあげたいと決意も新たにいたしております。今後とも市民皆様のご支援、ご指導を心からお願い申しあげ就任のあいさついたします。

新生 国東市議会



臨時会の主な内容

- 議長の選挙
- 副議長の選挙
- 国東市議会会議規則の制定
- 国東市議会委員会条例の制定
- 国東市議会事務局設置条例の制定
- 常任委員の選任
- 議会運営委員の選任
- 議会広報編集特別委員の選任
- 平成18年度一般会計暫定予算など専決処分の承認21件
- 大分県農業信用基金協会への加入を可決
- 選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙
- 農業委員会委員の推薦
- 教育委員会委員の任命
- 固定資産評価審査委員会委員の選任
- 監査委員の選任
- 公平委員会委員の選任

市民の皆様方のご指導、ご協力を重ねてお願い申しあげまして、私の就任のあいさつといたします。

これまで積み上げてきた先人達の功績に恥じないよう全力投球で取り組んでいきたいと考えております。

合併による新生「国東市」のまちづくりに執行機関と議会が一体となり、ご助言と、議員各位の協力をいただき職務を全うしていく覚悟であります。



副議長 安見 蔚

行政・議会が一体となった、まちづくりの推進を

このたびの第1回臨時会において、議員各位のご推薦をいただき初代副議長をお受けいたしました。誠に身に余る光栄でありますとともに責任の重大さを痛感いたしております。もとより浅学非才ではありますが、幸いにいたしましたして議長には人格識見ともに卓越した「猪俣」氏が就任されました。議長のご指導と

平成18年

6月定例会

承認1件、報告9件、議案29件が可決・承認。

一般会計予算の内容

総額 190億1,193万円

特別会計予算の内容

住宅新築資金等貸付事業	1,234万円
国東自動車学校	7,317万円
サイクリングターミナル事業	5,263万円
国民健康保険事業	38億162万円
介護保険事業(保険事業)	34億4,306万円
介護保険事業(サービス事業)	6億8,871万円
老人保健医療事業	56億2,022万円
簡易水道事業	5億136万円
公共下水道事業	5億1,482万円
特定環境保全公共下水道事業	13億5,517万円
農業集落排水事業	7,001万円
浄化槽設置事業	1,551万円
工業用水道事業(収益的収入・支出)	2,519万円
市民病院事業(収益的収入・支出)	36億3,404万円

平成18年第1回定例会が6月26日に開会され7月6日までの11日間の会期で審議されました。

主な内容

- ① 国東市表彰条例の制定
- ② 国東市国民保護協議会条例の制定
- ③ 国東市国民保護対策本部及び国東市緊急対処事態対策本部条例の制定
- ④ 国東市災害罹災者見舞金支給条例の制定
- ⑤ 国東市マリニピアむさし条例の一部改正
- ⑥ 指定管理者の指定について
 くにさき総合文化センター
 国東市安岐児童館
 国東老人憩の家
 国東市高齢者生活福祉センター
 「やすらぎ」
 国東市立藤本集会所
 国東市葬斎場

総括質疑

Q. 一般会計の予算総額は、適正規模か。また人件費はいくらか。

A. 歳入を見込んで、歳出を計上するので、いくらが適正かは把握してないが、経常経費の削減に努め、投資的経費にいわゆる寄せが来ないよう努力する。人件費は、一般会計で約51億円です。

Q. 大変厳しい予算編成の中で、投資的経費をいくら計上しているかお伺いしたい。

A. 投資的経費は、一般会計が約25億円、特別会計が約8億6千万円となっている。

Q. 経常収支比率は。

A. 100・4%の見込みです。

Q. 時間外勤務手当について多いが。

A. 合併により一時的に時間外勤務が増えているということでご理解願いたい。

Q. 長期総合計画の策定と地域審議会について

A. 新市の長期総合計画については早速策定に取りかかりたい。また、旧町単位に地域審議会を早急に立ち上げ、重要な課題などについて諮問申あげご審議いただきたい。

Q. 行財政改革推進の具体的な手法について

A. 行財政改革の内容については、当然広報誌などでお知らせするが、地域座談会的な場を設けて市民の皆さんに訴えご理解を頂けるよう努力する。

Q. 歳入の見込みについて

A. 市税、地方交付税、合併特例債などの歳入については、確実に見込める分しか計上していないので、今後増額が確定する分については基金に戻し入れたい。

Q. 人件費の見直しと地域給導入について

A. 地域給導入は組合と交渉し実施する。また、給

与のカットもあわせて実施し、人件費の削減に努める。



行政改革に取り組みます。(行革推進室)

議案質疑



ケーブルテレビ取材風景

Q. 土地開発公社予算の中で、雑収入は何か。

A. 安岐町と国見町の土地開発公社精算に係る剰余金です。

Q. 安岐町内の小学校統合に係る地元要望事項の解決について

A. スクールバスの運行、放課後児童対策など解決に向けて準備する。

Q. CATVの全体計画、今年度の実施計画と基本料金について

A. 3カ年計画で総事業費は約25億円です。今年度は3億円の事業費で、都市計画区域内を実施する。今後実施する分の基本料金については、IP電話も設置したいので安岐町より高くなると思う。

Q. イベント等補助金の25%カットについて

A. 一律カットではなく、補助金の中身を十分精査し調整したい。

Q. 新規作物導入事業について(ヤーコン)

A. ヤーコンの苗3万本とマルチ100本の補助金です。

Q. 八坂社集落整備事業について

A. 場所は富来の市道で、農村生活環境基盤整備事業で実施するものです。

Q. プラワーセンター管理運営費の内容は。

A. 花卉の育苗が主な業務ですが、切花、差し芽、小菊の親株の管理・販売等にかかる経費です。

Q. 緊急自動車購入費の内容は。

A. 国見出張所に配備するもので、通常型より少し高くなっている。

Q. AED(自動体外式除細動器)の集客施設への設置について。

A. 今年度はアストくにさきに設置する。順次、集客施設に設置していきたい。

Q. 私立幼稚園運営費補助金の算定基準は。

A. 旧町の算定基準のままです。来年度は調整する。

Q. プレス製品の売り払いきと製品の管理について

A. 昨年度の実績並みに計

上している。今後盗難にあわないように十分管理していく。

Q. し尿処理場に係る交付金の内容は。

A. 旧広域連合のときの協定で、土地4件に係る交付金です。

Q. 放課後児童クラブについて

A. 放課後児童クラブは現在市内に6箇所ある。国見町にも設置できるように検討する。

Q. 一時借入金限度額の設定について

A. 資金繰りのために、予算に定めているもので、今年度は30億円を予定している。

議案質疑

Q. ふるさと融資制度について

A. 融資希望申請者からの申し出により市が金融機関から融資を受け、ふるさと融資財団を経由し、申請者へ貸付をする。後年度利子償還額の75%が交付税措置される制度です。予算額は、老健施設2件、医院1件、会社1件の貸付金の償還金で合計約3,500万円です。

Q. 人権同和教育協議会と人権同和研究協議会の違いは。一本化できないのか。

A. 人権同和教育協議会は、社会教育行政の分野で、人権同和研究協議会は、学校教育の分野となる。今は、この組織は、姫島村が加わっているのですが、今後の課題としたい。

Q. 中学生海外交流補助金について

A. 安岐中学生と武蔵中学生の分です。来年度は市で統一した計画を立てたい。

Q. 文化ホールの借地料について

A. 地権者が8名、面積が6,266㎡で契約単価1,209/㎡です。契約期間は平成73年までです。

Q. 観光案内版の市名の変更について

A. 新しい観光案内版を3箇所に計画している。既存の看板については関係課と協議し変更していく。

Q. 市道改良工事の内容は。A. 路線数は13路線で、工

事請負費の予算額は約4億7千万円です。

Q. 区長報酬について

A. 市全体で130行政区があるが、合併による見直しで、区長報酬が下がったところがほとんどです。ご理解願いたい。

Q. ホルムアルデヒド検査について

A. すべての学校、園で毎年行っている。

Q. 福祉事務所査察指導員派遣負担金について内容

は。A. 県職員の派遣にかかる経費です。

Q. 介護サービス施設(む

さし苑)繰入金について

A. 起債の償還財源としての繰入です。

Q. 病院の交際費の開設者

分とは何か。A. 市長の分です。

Q. 病院運営委員の構成について

A. 病院運営委員のメンバーは見直す。

Q. 出産祝金の支給対象について

A. 第3子以降から対象となる。



ソウウン 韓国瑞雲中学校との交流



田口 易幸 議員

行財政改革の概要は

9月末に大綱、集中改革プランを作成

●行財政改革について

議員 国東市の財政力評価、職員定数の動向は。

市長 平成16年度の4町決算では、経常収支の平均は100・4%であります。

職員定数は、退職者数の3分の1補充、早期退職勧奨、指定管理者制度の導入、そして民営化により、今後5年間の削減率は、5・9%を見込んでいます。

●農林水産業の振興について

議員 新市発足を期しての振興策はないか。

市長 農業政策は、これまでの米政策改革推進対策に加えて、新しく品目横断的経営安定対策、資源環境対策の3つの政策を平成19年度から行います。品目横断的経営安定対策については、米、麦、大豆などの複数作目の組み合わせによる経営全体に対して、直接支払い、並びに販売収入の変動を緩和するための対策で、認定農業者は4ヘクタール、集落営農では20ヘクタール以上となっています。

平成17年度末で対象経営体は、認定農業者43名、集落営農3法人です。資源環境対策については、認定農家でもない、集落営農も取り組めない小農家に反当4,400円農地維持管理費として補助ができる対策です。

●少子化対策について

議員 国東市の出生数、出生率、合計特殊出生率、今後の出生予想として少子化対策は何ができるのか。

市長 平成16年の出生数は207名、出生率は6・1%、合計特殊出生率は1・48です。

今後の出生率は減少傾向が続くと思います。対策は、地域における子育て支援、親子の健康確保、教育環境の整備、子育て家庭に適した居住環境の確保、仕事と家庭の両立などの対策が考えられます。国東市として、次世代育成支援行動計画の中で具体的な実施計画を検討して実効あるものにしていくと考えています。



転作田による大豆栽培



一般質問

対話行政を どう進めてゆくのか

—— 小学校単位での行政懇談会を開催したい



宮永 英次 議員

●市長の公約とまちづくりの基本政策・姿勢について

議員 市長の公約である対話行政はいつから、どのような形で推進するのか。

市長 新市は一体という考え方を広めるために、公平・公正な行政施策を展開するため、現在は各地域の会合に出席し、意見や要望などを拝聴しており、今後は、秋頃より各地域・小学校単位ぐらゐでの行政懇談会を開催し、要望や意見を伺いたいと思います。

●財政基盤の確立・健全強化について

議員 財政基盤の確立と自主財源の確保についての対応は。

市長 本市の財政の強化は最優先課題であり、歳出の削減については各事業の見直し、人件費・物件費・補助費などの削減を今実施しています。

歳入については農林水産業の振興が重要であり、農産品のブランド化・産地化・団地化を国、県の補助事業を活用しながら図っていきます。また、ソーニーやキャンノン以外の企業誘致も積極的にやりたいと思います。

議員 まちづくりの活性化は自主財源の確保にもつながると考えるが、対策として具体的戦略を練る諮問機関を設置する考えはないか。

市長 長期総合計画、過疎地域の自立促進計画など策定し、人的交流が図られ、観光にも役立つような施設なども十分検討し、活性化につながるような施策を考えていきます。諮問機関については、各町ごとに地域審議会を設置していきま



市民との対話

す。また、大分大学と協力提携を結ぶ計画もあり、今後は大学の方々も含めて、まちづくりの指導も頂きたいと思っております。

●教育行政に対する基本姿勢及び教育基本法改正について

議員 本市の教育行政に対する基本姿勢や学校施設をはじめ、色々な課題や要望があるが対応は。

教育長 国や県教育行政の基本方針を

踏まえ、旧4町ごとに培われてきた伝統や文化を継承し、特色ある教育の充実に努め、人生の創造出来る生涯活動の形成に向けて、「学校」、「家庭」、「地域」との協力による教育を推進し、地域総参加の安全、安心の子育て、まちづくりの実現を図りたいと思います。各学校の要望については、実態に耳を傾け、目を向け、財政状況も厳しいですが、少しでも実現できるよう関係機関に働きかけ努力します。

地産地消の 取り組みについて

積極的に推進

●地場産業の育成と雇用対策について

議員 行政改革の一環として、市職員数の減は必要だが、若者の雇用対策として今後、企業

誘致、地元産業の育成、企業の育成、若者の定住策及び雇用対策が急務と考えている。具体的な若者の定住策につなげる雇用対策は。

市長 地場産業は地域活性化の大きな柱です。市場の開拓、人材の確保、育成などの課題に取り組んでいかなければな



野田 忠治 議員

らないと思っています。雇用対策については、雇用の場所を確保するため、企業ニーズに沿った、また、基盤整備なども地元として力を入れて積極的に企業誘致を図ってまいります。



地産地消に取り組む給食センター

●市内各施設、学校給食における地産地消への取り組み

議員 市内にある公共の施設や民間の施設が地産地消に取り組むことによつて、コストの削減と一次産業、農業の振興及び発展、そして数千円以上にも及ぶ経済効果が期待できる。農業の振興策の一端として地産地消に取り組むべきだと考

えているが、今後の取り組みについて。

市長 地産地消を進めていき、地場製品、産品の公的関連施設での積極的な活用など推奨していきたいと思っています。また、対象業者に対する国や県の補助事業についても、情報提供を行っていき

きたいと思っています。

市内の給食センターに地産地消に向けての取り組みを今後とも強化していき、新鮮な食材の確保に努め、積極的に推進

していきたいと思っています。また、病院関係も協力していただいております。

議員 これまで国東町が取り組んできた地産地消の内容について詳しくお聞きしたい。

市長 3年間の県のモデル事業で取り組んできた、学校給食地産地消促進協議会という組織があり、行政・生産者・保護者・給食センター職員とで組織を立ち上げ、いろいろな問題提供しながら進めてきました。これからは給食センターごとにこのような組織を立ち上げていく方向で協議していく必要があるかと思

●観光産業の推進について

議員 新市の経済の発展のためにも、交流人口の増大のためにも観光産業の推進、いかに市外・県外にPRしていくかが大切だと考えるが、今後の取り組みは。

市長 歴史的、文化的にもつながりの深い宇佐・国東半島一体の各市町村が観光振興と一緒に取組み、地域の資源を生かした当地域の持つ価値を来訪者に伝えるような方策を図っていきます。各施設、資源を線で結ぶ広域観光ルートの策定、体験型ツアーの豊富なメニューの準備、観光に結びつけたメニュー開発など、県・関係市町村と一体となつて観光振興を図り、人口交流を増やし、地域の活性化につなげることを重要な市政の課題として取り組んでいきたいと思

います。

一般質問



国東市民病院



丸小野宣康 議員

市民病院の経営状況は

非常に厳しいの一言につきまゝ

●市民病院の経営について

議員 市民病院の経営の内容、患者の動向、医療技術の向上についてお聞きしたい。

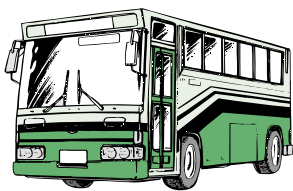
病院長 市民病院の経営状況は非常に厳しいの一言に尽きます。悪化の原因は、医師不足や患者数の減少、職員の人件費の増大などです。中でも医師不足は深刻で、昨年3名減少。大分大学やインターネットを通じて募集しておりますが、医師の確保は困難を極めています。それが影響してか入院患者数は一昨年に比較すると6、313人減少しました。

医療技術の向上については、医療専門職としてのレベルの維持、向上を図るために研修は不可欠と認識しており、院内・院外研修とも積極的に行うよう指導しています。

●研修バスの運行について

議員 研修バスの運行、内容は。

市長 現在研修バスとして使用可能なのは、50人乗りの大型、35人乗りの中型、



25人乗りのマイクロバスが3台、計5台のバスがごございます。大型バス以外は既に運行を開始しています。その大型バスも国東観光バスと運行管理委託契約が完了しました。7月から開始します。運行基準は原則として国東市、または他の公的な団体が主催する各種大会や研修会に限定させていただきたいと思えます。

●決裁権限について

議員 総合支所長の決裁権限は。

市長 総合支所長は本市では部長級の位置づけをしております。決裁権限の額は500万円ということを実施してまいります。また、支所長には予算の編成権限はございませんので、支所長権限で支所独自の事業執行は困難です。そこで今回の予算編成で支所の調整費の予算として各支所に100万円ずつを計上いたしております。決して大きな額とは申しませんが、これから年次のにどういう支出が出てくるのか、支所ごとに見極めながらその増額には対応していきたいと思っております。

団塊世代の Uターン対策は

ホームページなどで取組む



木田 憲治 議員

●農業振興策

議員 担い手の推進について

市長 平成19年度から、これまでの米政策改革推進対策に加えて品目横断的経営安定対策それと農地・水・環境安全対策が新対策として加えられその取り組みについては、昨年度より各集落・行政区などで説明会を開催して引き続き推進をいたしております。その中の農地・水・環境安全対策につきましては、これまでの中山間地域などの直接支払い制度の低地版として、現在実施要望地区の取りまとめをいたしております。管内の農業は生産者の高齢化・担い手不足など、さまざまな問題を抱えておりますが、地域に応じた特色ある農業を展開していき、生産者に対する情報提供や技術の提供の迅速な対応、また各種農産物における全国的なブランド化の商品の開発・定着化・新規導入作物等を取り入れるなど、いろいろな施策の展開をし、新規就農者等の支援なども含め、産地づくりを推進していきたいと思っております。

●団塊世代のUターン策

議員 団塊の世代といわれる方々がもたらす経済効果は60兆円とも70兆円とも言われているが、そういう方々が定年でUターンされ新規就農支援対策としての取り組みは。

市長 県内の団塊世代の人口6万6千人と言われております。加えて大都市圏からの定年退職者のUターンなども予想されますので、各自自治体でも地域の活動の担い手として地域活性化を模索致しています。そういう方々に農業の魅力・田

舎暮らしの提案を行うことは、国東市の活性化のためにも必要と思っておりますので、農地の情報それから空き家の情報を整備し、国東市としての受け入れ方法を研究してホームページなどで発信していきたいと思っております。就農希望者の方々については県の農業・農村振興公社が行っております里親研修事業、また、就農支援資金貸付制度などを活用して、研修支援や

補助事業・農業制度資金を活用した施設整備などの支援を行っております。田舎に実家が無い方々が新規に国東市に来て頂き就農していただけるように色々な情報などもホームページなどに掲載して広くPRして、出来るだけそうした帰農者の方々を市内に呼び戻せるよう努力していきます。



集落営農の説明会

職員給与の見直し

地域給の導入



唯有 幸明 議員

査をしています。7月末には片側通行ができる予定です。本工事は頂上付近から

のり面整形を計画しています。林道鷲ノ巣線は県の指導で豊後高田市の見目地区へのルートを検討しています。
議員 ケーブルテレビの早期着工で情報の僻地化の解消は。
出産祝金は年間何人予定しているか。
第1子からの支給は考えられないか。国見地区の学童保育施設の計画は。

市長 今年度は総務省補助で、旧国東町の都市計画区域内です。平成19年度、20年度は農水省補助で国東町の残り旧武蔵町、旧国見町全域で実施します。出

産祝金は第3子以降一律30万円、対象人数は年間30人です。第1子・2子は今後の検討課題にさせていただきます。平成19年度から国見町にも学童児童クラブ、放課後クラブを設置するよう準備していきます。

●財政の健全化について

議員 管理職手当、時間外手当の見直し、旧町間の職員給与の平準化と給与カットは。

市長 管理職手当や時間外手当もカットの対象です。人事院勧告による地域給の導入で約4%ほど下がる。別に給与カットも実施し、両立ての賃金カットとなります。給与平準化は基準条件を統一して、職員の平準化、統一した給与の額を下げしていきます。

●国保税の不均一課税と人間ドックの取扱いについて

議員 国保税の不均一課税は何年ぐらいの見通しか。

旧国見町では5千円の自己負担で人間ドックが受けられたが、今年度限りという話が出ている。どうなるのか。

市長 17年度決算で4町とも5千万円程の赤字となります。このままでは一部の町で基金がなくなります。平成20年度から医療制度改革があり、この時期から不均一課税を戻す頃と考えています。来年度から節目の人間ドックの対象者は5千円負担、その他の方々は1万円負担に統一させていただきますと思います。

●周辺部対策について

議員 国道213号線大熊毛島田間の内迫バス停付近の改良、山香国見線のがけ崩れによる通行止め解除と抜本的改良、県単林道鷲ノ巣線の事業復活を県や関係機関に要望しているのか。

市長 内迫バス停付近の改良工事は県に要望しています。山香国見線の地蔵峠付近は県が伸縮計を設置し、地盤の変動調



国道 213 号線改良工事 (国東町浜)



白石 徳明 議員

高すぎるゴミ袋

処理場の維持管理費に

の助成、障がい者手帳をお持ちの方に一律3千円、介護者の方々に月額1万円の支給など組みました。良くなった地域や下がった所もあるかとは思いますが、介護保険などは3年後に平準化します。教育予算やイベント、お祭り、体育事業など、皆さんが楽しみにしているものについては十分精査しているところであります。

●ゴミ袋の価格について

議員 ごみ袋の価格が高すぎる、大きい袋が40円、小さい袋が30円、この根拠は。

市長 平成11年にクリーンセンターができて処理場の維持管理費の20パーセントを袋代で充てようと40円に設定したようです。純利益は2,600万円程上がっています。家庭で出るゴミの処理機に別枠で補助金を出しています。利用してください。

議員 ゴミ袋40円の内訳は。

環境衛生課長 小売店や商工会に5円、袋代の平均が8・8円、差し引き市には26・2円が入ります。

議員 杵築市や日出町は袋代が21円、原価が7円と安い。原価を下げる努力は。環境衛生課長 市になって一年間の入札をしました。以前は3年の入札でした。

●農政について

議員 品目横断的経営安定対策は小規模

農家の切捨てであり9割の農家が除外されそう。また、定年帰農者や団塊世代の方々との間に溝ができ、農業活性化につながらないのでは。

市長 国の政策によって、転作奨励の補助金制度、担い手育成をめざした、品目横断的安定経営対策制度、資源環境保全制度、この3つが来年度からスタートします。その制度にのった上で、集落営農を推進し、余剰労力を利用し、付加価値のついた特産物、野菜を作っていたら、道の駅や里の駅で現金収入のとれる産地化作りを勧めます。また、帰農者などの方々には集落営農組合の事務や經理をしてもらうのも方法と考えています。

●福祉・教育予算について

議員 予算編成にあたり補助金の一律25パーセントカットと聞いたが、福祉や教育予算は。また、介護保険などの平準化の見直しは。

市長 敬老会助成交付金が一人当たり1,200円。針やお灸が一回500円



国東市クリーンセンター

一般質問

福祉バスの運行は

市内14路線で運行



馬場 将郎 議員



福祉バスを利用する市民

●職員配置について
議員 本庁支所方式による職員配置部制による職員体制、消防の職員体制は適材適所に配置され、機能が効果的に発揮される体制になっているか。次に、勤務評価システムの導入についてはどうするか。

市長 人事配置については、理想的決定が出来て合併を迎えたとは思っていません。
総合支所方式のあり方、組織機構については抜本的に見直す必要があると認識しています。勤務評価システムについては、給与構造改革と平行して、集中改革

プランの中で検討します。
●高齢者福祉について
議員 バス交通体系の見直しは、福祉バスの運行は全市にどう広げていくのか。昨年度の運行状況、利用状況は、そして、高齢者バス利用者助成制度はどうするのか。

●児童福祉について
議員 旧町策定の次世代育成支援計画を新市でどのように計画立案するのか、ここに保育支援対策をどのように取り組むのか。
市長 旧4町の次世代育成支援行動計画をすり合わせて、新市として新しい計画を策定したいと思っています。ここに保育支援事業は、第3子以降3歳未満児保育料全面免除のみを実施しており、第2子3歳未満児半額免除も実現に向けて検討努力していきます。子育て支援対策の取組みについては、地域子育て支援センターが設置されており、相談指導対策事業の実施を行っています。その他必要な取組みについても、次世代育成行動計画の中で検討していきたいと思っています。

大分空港の活用と 周辺地域の整備対策

—— 県の関係機関と連携し環境整備に努める

●財政改革について

議員 財政改革は喫緊の課題だが、執行部や市職員は、これからは経営感覚、コスト意識を持って行政の執行に当たるべきだと思いが、どのように浸透させるのか。

市長 対話行政を推進する中で、自主的な自治の経営を訴えていこうと考えており、職員一人一人が住民の役に立つこ

●情報公開の取組みについて

議員 国東市情報公開条例が制定されているが公開の手段は。

市長 市報や各種発行物などを中心に公開し、将来的にはホームページ、ケーブルテレビなどを十分活用し、情報公開を行います。

●空港周辺対策について

議員 大分空港は年間180万人の利用があるが、今後の活用方法は。



木付 親次 議員

とを喜んでやっていく、そういう意識改革が必要です。今後も職員能力・資質の向上を図っていき、適材適所の人事配置を行っていくことが重要だと思っています。

議員 市の事業の民営化についてはどのような方針か。

市長 行政のスリム化が言われている時代なので民ができるものは民にという考えですが、今後事業・施設などは十分検討していきます。

また、空港周辺地域の騒音対策は。

市長 国東観光誘致としては、修学旅行などの団体を考えていますが、県の教育旅行誘致促進協議会に加入し、関係機関と連携をとりながら、環境整備に努めま

す。

騒音対策などについては、航空機燃料譲与税を活用し、周辺地域の道路や漁港の整備も含め、騒音対策にも十分検討し対処していきます。



大分空港



綾部 敦 議員

学校教育のあり方について

特色ある教育の充実

認、点検および活用を積極的に行い

ます。

3. スクールカードを組織し活用を図ります。

●子どもたちを加害者にしない対策として

1. スクールカウンセラーなどの教育相談体制の活用、充実を図ります。

2. 豊かな体験活動などを通しての心の教育を推進します。

常識では考えられない事件の解決には、親や家庭を大事にする心をはぐくむということであり、学校・家庭・地域が一体となって、協力し合って、働きかけ合う社会をつくるのが大切だろうと考えています。

●学校教育について

議員 地域の学校にはそれぞれの特徴があると思う。しかし、一生懸命取り組んでいる姿勢が伝わってきません。ただ学校経営のマニュアルの提示と説明に終始した。地域の学校には個々の特徴や伝統といった地域性があり、それらの学風に根付いた教育が必要ではないかと思う。教職員はサラリーマン化しているのではないか。教育長の見解は。

●教育長

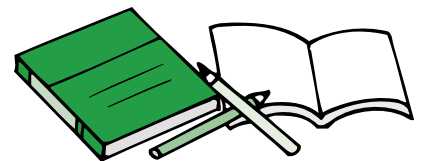
急速な社会の変化に対応し、国における教育改革の動向や大分県教育行政の基本方針を踏まえ、さらにこれまで旧4町ごとに培われてきた良き伝統や文化を継承しつつ、特色ある教育の充実に努めてまいります。

●複雑化・多様化する新たな生徒指導上の諸問題に対する被害者対策として

1. 通学路の点検と安全マップの充実、改善を図ります。
2. 子どもの連絡所、防犯ブザーの確



学校訪問



委員会活動報告

総務 常任委員会

委員長 馬場 将郎
副委員長 渡邊 俊樹
委員 高橋 正之
後藤耕一郎
吉松 京一
豊田 宏治

総務常任委員会 委員長 馬場 将郎

7月3日、午前10時より平成18年度、6月定例議会において付託された、関係案件について第1回総務委員会を開催した。

関係各課より付託案件について説明を求め審議致しました。

【関係案件】

- 平成18年度国東市一般会計予算総務関係部分
- 平成18年度国東市立国東自動車学校特別会計予算
- 国東市表彰条例の制定について
- 国東市国民保護協議会条例制定について
- 国東市国民保護対策本部及び国東市緊急対処事態対策本部条例の制定について
- 大分県市町村会館管理組合を組織する地方公共団体の数の増減について
- 日出生台演習場での在米軍の訓練拡大に反対する請願について

以上の案件について、慎重に審議した結果、議案は原案のとおり可決すべきと決定した。また請願についても、採択すべきとの結論に達し、意見書の提出を委員会として了承した。

また、当日午後より、関係する、市消防本部並びに市立自動車学校に委員全員にて現地訪問し、消防本部に於いては消防長及び職員より、消防業務の内容等について説明を受け意見交換した。

また、市立自動車学校に於いても、校長より業務内容等について、説明を受けた。

両施設とも、業務内容等において今後の課題も見受けられ、総務委員会としても検討すべきとの結論に達した。



委員会活動報告

文教 常任委員会

委員長 堤 康二郎
副委員長 野田 忠治
委員 木付 親次
堀田 一則
宮永 英次
綾部 敦

文教常任委員会 委員長 堤 康二郎

6月5日、第1委員会室において第1回の委員会を開き、市教育委員会組織についての説明を受けた後、所管の各担当課より18年度主要事業について協議を行った。

6月13日から5日間の日程で教育委員と合同による学校訪問を行った。小学校18校(1,766人)、中学校7校(936人)、幼稚園11園(137人)の校長・園長より経営・教育方針などの説明を受けた後、活発な意見交換が行われた。各小学校では登下校時の犯罪阻止に対して地域と連携しての様々な取り組みがなされ、学校への不審者侵入防止の対策もされていた。

しかし児童の防犯ベルの所持については旧各町でのばらつきがあり、今後の課題として早急に取り組む必要性を感じた。特に目立ついじめ等の報告は無かったが、不登校気味(保健室通学)の生徒が目立つ中学校もあった。今後安岐町の小学校統合や国東町の中学校統合、校舎の老朽化、保健室等の空調設備など、様々な課題が山積みしている事を委員会で共通認識を持った。

7月4日、第1回定例議会において審査を付託された平成18年度一般会計予算の関係部分の教育費、くにさき総合文化センターの指定管理者の指定についての2議案について執行部より詳細な説明を求めた後、討論採決を行い、原案のとおり可決した。また、「義務教育費国庫負担制度の堅持及び30人以下学級の実現・複式学級解消を求める」請願も採択され意見書提出を決定した。



委員会活動報告

厚生 常任委員会

委員長 諸富 忠
副委員長 唯有 幸明
委員 白石 徳明
田口 易幸
大谷 和義
元永 安行
安見 蔚

厚生常任委員会 委員長 諸富 忠

平成 18 年第 1 回 6 月定例会において、厚生常任委員会を開催致しました。

国東市が発足して、議会の常任委員会が構成され、初めての委員会ですので、7 月 3 日に関係する施設の視察研修を実施致しました。

安岐町では安岐福祉ゾーン、安岐保育園、国東市民病院、武蔵町は隣保館、保健福祉センター、むさし苑、国東町はクリーンセンター、し尿処理場、国見町においては、熊毛保育所、養護老人ホーム等、施設内容の研修を行ない、各々施設の担当者より運営状況の説明を受けました。

第 2 日目には、厚生常任委員会に審査を付託されました、議案平成 18 年度国東市一般会計予算等の生活福祉部に係る審議、特別会計予算 4 件、条例関係 2 件、議案の指定管理者の指定について 6 件、請願 1 件、計 14 議案について生活福祉部長、担当課長より詳細説明を委員 7 名で慎重に審議を致しました結果、いずれも原案の通り可決すべきものと決定を致しました。

生活福祉部のこれから大きな課題は、少子高齢化が加速するなかで、国東市の高齢化率 33.9%と高く、また少子化についても深刻な問題となっております。

委員会としてもこれらの問題の対策や検討の審議、子育て支援事業の推進、今後予想される超高齢化社会に対応を出来る、これまで 4 町が実施してきた、介護事業、訪問看護、高齢者福祉サービスの継承を図りつつ、合併後の福祉サービスの統一を図り、住民検診を積極的に推進し、予防医療により医療費の削減を図る。

障がい者基本計画及び障がい福祉計画策定により障がい者福祉サービス向上に努め



る。市民が将来に夢を持てる、住み慣れた地域で心身とも健康で生き生きと生活が出来、安心して過ごすことが出来る地域社会の実現を目指し、生活福祉部の各事業を積極的に推進してまいります。

委員会活動報告

産業建設 常任委員会

委員長 丸小野宣康
副委員長 木田 憲治
委員 吉水 國人
溝部 元生
松本 剛弘
清國 仁士
猪俣 俊雄

産業建設常任委員会 委員長 丸小野 宣 康

第1回定例会において、産業建設常任委員会に審査を付託された承認1件、議案10件について7月3日委員会を開催し、委員全員出席のもと担当部長並びに各課長による詳細な説明を求め慎重審議いたしました。その結果全議案とも原案のとおり承認及び可決すべきものと決定した。

翌日、市内の関係施設の視察を実施し、国見町においては国見くるまえび生産組合の概要並びに運営状況について組合長並びに関係職員の説明を受け、つづいて櫛来港海岸整備事業の現地視察。

国東町においては文殊線の改良事業現地視察。武蔵町については、浄化センターとフラワーセンターを視察し、運営状況並びに施設について担当職員より説明を受けた。

安岐町においては、あさぎりの郷の活用状況並びに施設の概要について担当職員より説明を受けた。



請 願

採 択

6月定例会に提出された請願は3件で、すべて採択されました。

①安全・安心の医療と看護の実現のため医師・看護師等の増員を求める請願

医療事故をなくし、安全・安心でゆきとどいた医療・看護を実現するためには、医療従事者がゆとりと誇りを持って働きつづけられる職場づくりが不可欠です。ついては、過酷な労働実態を改善するため、夜勤日数に上限規制などの法整備が必要です。「安全・安心のコスト保障が必要」であり、診療報酬などによる財政的な裏付けが求められています。

よって政府におかれましては、現場での大幅増員を保障する看護職員等の確保対策・予算の拡充や診療報酬の改善を行うよう国に対して要望しました。

②日出生台演習場での在沖縄米軍の訓練拡大に反対する意見書提出に関する請願

日出生台演習場での在沖縄米軍の訓練は、沖縄県民の米軍基地負担軽減を目的に平成10年度から実施され、今回で6回目となったが、これまでの155ミリりゅう弾砲撃訓練に加え、小銃・機関銃の実弾を使う訓練の実施を申し入れてきた。本来、規模拡大の歯止めとなるべき協定が軽視され、今回、米軍が協定にはない小銃・機関銃などの小火器訓練を実施する構えを見せたことに、県民は将来、訓練が拡大するのではないかと危惧している。よって、国に対して「平成18年度の米軍の訓練に当たっては、協定の内容を米軍に十分に説明し、遵守すること。」「平成19年10月の協定更新に当たっては、4者協や住民の声に十分配慮し、訓練内容を拡大しないこと。」を要望しました。

③義務教育費国庫負担制度の堅持および30人以下学級の実現・複式学級解消を求める請願

教育の機会均等・教育水準の維持・向上を確保するのは国の責務であり、国の財政負担と責任において行われるべきであります。義務教育費国庫負担制度の廃止は、各県や市町村財政に影響を与え、その結果、財政力によって義務教育の水準格差が生まれることは必至です。

よって、義務教育費国庫負担制度の堅持、30人以下学級の実現・複式学級を解消することを国に対して要望しました。

議会運営委員会

委員長	豊田宏治	議員
副委員長	田口易幸	議員
委員	吉水國人	議員
委員	後藤耕一郎	議員
委員	野田忠治	議員
委員	清國仁士	議員
委員	堤康二郎	議員
委員	元永安	議員

議会広報編集特別委員会

委員長	吉松京一	議員
副委員長	木付親次	議員
委員	高橋正之	議員
委員	白石徳明	議員
委員	木田憲治	議員
委員	丸小野宣康	議員
委員	大谷和義	議員
委員	宮永英次	議員

議会運営委員会、議会広報編集特別委員会 構成決まる。



助役に選任された森助役（写真右）と河野収入役（写真左）

6月定例会で助役に森正二氏（前総務企画部長）、収入役に河野猛氏（前武蔵総合支所地域建設課長）が選任され市の執行部の新体制がスタートしました。

助役に森正二氏、収入役に河野猛氏を選任

（議会を傍聴しましょう）

議会を傍聴することは、市民として市政を知る最も良い方法です。皆さんの選んだ議員の議会活動を理解するために、機会あるごとに議会を傍聴しましょう。次回定例会の開催予定は、9月中旬の予定です。議会を傍聴されたい方は、議会事務局まで連絡ください。

電話 (0978)72-5196

第一回 国東市議会

定例会議を傍聴して

国東市安岐町中園

本多ノリ子

梅雨期の6月30日、合併初の国東市議会定例会議傍聴の機会に社会教育委員の一員として出席。旧4町から選出された議員団の役割構想活動が垣間見えるのは無理かもの思いの中で、一般質問 唯 議員、道路整備、ケープルレ、少子化対策、国保税不均一課税、人間ドック。白石議員、ゴミ袋価格の引き下げ、農業品目経営安定の支援策、福祉教育予算。馬場議員、職員配置、高齢者福祉、児童福祉の子育て支援対策。木付議員、情報公開、大分空港活用と周辺地域整備。綾部議員、教育行政における学校教育社会教育のあり方などなど。日程としてはとても過密で、4町持ち寄りの問題山積の中で、各地域の実情やこれからの市政に対する意気込みを伺い知る質問が多く、切実な身近な提起に照山市長が一つ一つ丁寧に詳しく明確に答弁していらっしやるのが、印象的でした。安岐町のCATVは4月より開局諸行事スポーツふるさと駅伝に始まり、桜祭、梅園祭の子ども神楽、春のソフトボール、バレー、あじさい祭、中体連のようすなど、隣近所の友人知人、澆刺とした中高生、田植体験する小学生の顔、市報紙では得られない画像を見ることができ、高額な費用をかけた価値はあると私は思います。やがては、市議会のようなCATVを通じて傍聴席の一人になれるでしょう。

議会のつづき

4月23日 国東市議会議員選挙
5月9日 臨時会事前打合せ会

17日～18日 第1回臨時会
23日～25日 第82回国東市議会議長会定期総会

6月1日 議会運営委員会

5日 文教委員会
13日～22日 文教委員学校訪問

16日 議会運営委員会
26日～7月6日 第1回定例会

7月3日 総務委員会
29日 広報編集特別委員会

産業建設委員会
4日 厚生委員会
4日 文教委員会

産業建設委員会現地視察

6日 広報編集特別委員会
19日 広報編集特別委員会
21日～22日 第2回事務局長会議

8月1日 広報編集特別委員会
2日～4日 大分県市議会議長会研修会

22日 広報編集特別委員会
22日 広報編集特別委員会
22日～23日 大分県市議会議長会議員研修会

大分県市議会議長会議員研修会

表紙の説明

川舟祭り

— 水と火の勇壮な夜の祭典 男の祭 —

旧暦の6月29日、1年で最も潮の干満の大きい時に、安岐川河口で行われる川舟神幸。火柱を挙げるかがり火舟からは、勇壮な締め込み姿の男たちが、水しぶきを上げて川に飛び込む。御輿舟、囃子舟と闇の中から次々と姿を現し、闇と炎と水しぶきの饗宴が繰り広げられる。

歴史は古く、今から約200年前に湊を中心に船主や商人たちによって、海上安全・大漁、商売繁盛を祈願した住吉社の夏祭り、一時中断していた時期もあったが、現在は保存会も結成され、伝統行事が受け継がれている。

ハマボウの花は、昔は各地で自生していましたが、最近では珍しくなっています。



国東市国東町富来の河口に群生するハマボウの花

編集後記

●合併して初めての市議会だよりを発行することになり、委員全員で発行に向け張り切っています。市民が読みやすいといわれるようにがんばりたいと思います。

●8月も残り少なくなり、静かなお盆も終わり、今年はお客さんも、お墓参りにいって光景を見ることが出来た。

●私達が子どものころは、8月の13日夕方は沢山の方々が迎えに来ていたものです。今は、墓の掃除さえしていない所がかなりあります。悲しくなりますよね。

●子どものころは、ナス、トウモロコシなどを使い、馬に仕立て、仏様に飾ったり、「ふ」を沢山飾ったものです。

●これから先、墓、仏様も、見てくれる人がいるのだろうか、本当に心配さえます。

●地区の盆踊り大会にしても、年々参加者が減り、以前は2日間あったのですが、1日だけ、昔のように2重3重で踊ることはありません。

●出来れば参加しない、そのほうが楽なのです。今日の、自由、ボランティアについて本当に考え直す必要があるのでは？

●今のよき時代、昔とのギャップに戸惑いがあるように思えます。
どうなるのだろうか、これからの日本？ (吉松)

発行責任者 猪俣 俊雄
編集委員長 吉松 京一
副委員長 木村 親次
委員 高橋 正之
白石 徳明
木田 憲治
丸小野 宣康
大谷 和義
宮永 英次